



★富士山かぐや姫ミュージアム主催体験講座★

体験参加者募集!!!

一閑張入門

紙の町富士市で多くの市民の方に体験していただける講座です。

型や籠などに和紙を張り重ね、柿渋や漆で仕上げる「一閑張」。江戸時代初期に日本の良質の和紙に目が留まった飛来一閑が、中国古来の脱活乾漆の技法を基礎に「和紙を主原料とした独自の技法を考案した」ことがその始まりです。

一閑が大徳寺僧侶の招きに応じて京都を訪れた際、千家三代・千宗旦の目に留まったことから、一閑張は大きく二派に枝分かれしました。

一方は、千家十職として茶道具をつくることとなった飛来一閑ひらいっかん飛来家。それに対して、元祖の流れを汲んで生活道具を作り続けた一閑は、112代霊元天皇から「泉王子」の名を受け、幕府御用を務めました。

現代まで、飛来一閑 泉王子家として代を重ねて技術を引き継いでいます。

本年度は、講座参加者を対象に8月2日(金)13時より尾上 瑞宝 先生(飛来一閑 第十四代 泉王子 称号継承者)による、「一閑張の精神とその技術」についての講演会を実施します。

午前の部は、初級編として博物館職員の指導の下、竹箴に和紙を張り重ね柿渋を塗り仕上げます。午後の部は、中級編として第3回目に尾上 瑞宝 先生を講師にお招きし、正統な技術を直接学んでいただけます。中級編では、ご自身で用意したお好きな籠や型に和紙を張り重ね柿渋を塗り仕上げることができます。

1回目	制作	午前の部	竹箴に和紙を張る(下張り)
	↓	午後の部	籠や型に和紙を張る(下張り)
2回目	制作	午前の部	竹箴に和紙を張る(本張り)
		午後の部	籠や型に和紙を張る(本張り)
	↓	講義	共通 デザインを考える ※1
3回目	仕上げ	共通	作品に柿渋を塗り仕上げる
		午後の部	立体一閑張を学んでみよう ※1
	講義	講演会	一閑張について学ぶ ※2

※1 一閑張に描く絵や装飾について講義をおこないます。

※2 講師 尾上 瑞宝 先生(飛来一閑 十四代 泉王子)
講演会 13時~14時



1回目 7/5(金)

午前の部 9:30~11:30

午後の部 13:30~15:30

2回目 7/19(金)

午前の部 9:30~11:30

午後の部 13:30~15:30

3回目 8/2(金)

午前の部 9:30~11:30

午後の部 14:30~16:30

●会場 工芸棟 陶芸室

●参加料 午前の部 2,200円 午後の部 2,200円

●講師 午前の部 博物館職員

午後の部 1、2回目 博物館職員 3回目 尾上 瑞宝 先生(飛来一閑 第十四代 泉王子 称号継承者)

●対象 18歳以上で3回連続出席できる方

●持ち物 筆記用具、茶碗、蓋つきの空き瓶、目打ち、汚れても良いエプロン、タオルなど

●定員 午前の部 16名 午後の部 20名

●申込み 令和元年6月14日(金)9:00~。電話か直接、富士山かぐや姫ミュージアムへ。各回定員になり次第締切です。

※受付は直接来館申込みの方を優先とさせていただきます。御了承ください。



富士山かぐや姫ミュージアム

お問い合わせ・お申込み

TEL.0545 (21) 3380